

平成27年度流山市特別職報酬等審議会会議録

- 1 日 時 平成27年10月29日（木）
午後1時30分～3時45分
- 2 会 場 市役所庁議室
- 3 出席委員 秋元篤司・海老原新蔵・関口一郎・中島美江・成島崇・
岡村徳久・鈴木美智子・松本ユミ・池森由布子・鈴木智
子（敬称略）
- 4 事務局 水代総務部長・渡辺人材育成課長・上原課長補佐・櫻井
係長・山崎副主査・宮村主事
- 5 傍聴者 4名

議題：議会議員の報酬及び常勤の特別職の職員の給料月額等について

※ 発言内容は要約させていただいております。

※ 概要は審議に入ったところから記載しています。

【議事内容】

A 委員

別添1のグラフ資料、2ページで、物件費というのは委託料、臨時職員の賃金のお金との説明がある。しかも、人件費よりも割合が高くなっているが、その中身、委託料と賃金の割合、実際の臨時職員の人数はどの程度なのか、教えていただきたい。

事務局

物件費の内容としては、主に年間の施設の維持・管理費や委託料となっています。また、臨時職員は800名程度おり、その賃金は物件費のうち約10%を占め、平成26年度決算では、約8億5,000万円となっています。

B 委員

物件費の中に臨時職員の賃金が入っているのが良く分からない。一般

市民の目からは、人件費ではないかと考えてしまうと思う。

事務局

地方公共団体の経費を性質によって分類することで、全国統一の基準となっており、地方自治法施行規則では、1節から28節までの節の区分を基準としたものです。

そのうち人件費関係は1節から4節の、報酬、給料、手当、共済費等が位置付けされています。臨時職員の賃金は、7節で物件費という位置付けがされているためです。

A 委員

県から出ている人事委員会勧告の比較対象となる民間給与について、事業所規模が50人以上で無作為に抽出する方法で373の事業所を調べているとのことであるが、千葉県には抽出対象となる事業所規模50人以上の事業所というのは、全体でどれくらいあるのか。

事務局

1,697の事業所の中から無作為に抽出した、373事業所です。

C 委員

全然違う意見だが、流山の場合、ほとんどが中小企業である。非常に景気が悪い中でも、昨年から今年にかけては、特にマスコミでベースアップなどが話題となり、少しずつ賃上げをしなければならない状況となっている。世の中の先行きが少し見えてきたというか、明るい感じがあったことから、商工会議所の会員の中には、頑張って賃上げを行った会社が、数年前に比べると、はるかに増えてきたという気がしている。そういう意味で、長い間耐えてきたような印象を持っている。

資料等からも、市の状態が上向きに向かっていることが見えてきているので、率はともかくとして、方向性としては、この辺で報酬を上げて良いのではないか、という印象は受けた。

D 委員

4年前に特別職報酬等審議会を行い、そのときは、他の市町村の給料

も考慮しながら、それが適当であるということで引下げた。それから今まで審議会を実施していないということも含め、今回は、引上げてもいいのではないか、と私は思う。

C 委員

以前の流山市の厳しい財政状況に比べれば、良い方向に向かっているということを知っている。タイミングとしては、ここで引上げてもいいのではないか、という気がしている。

E 委員

今後、遊休地の活用など、官民一体となった事業が更に展開をしていくという情報がある中で言うと、これについては高い評価を出すべきであると思う。それに連動して、引上げの改定に、私も賛成意見ということになる。

F 委員

私は主婦の目線でこの資料を読んで、市の規模にしては、意外と給料が高いと感じた。年間収入額の比較を見ると、特別職はすべて近隣の市よりも順位が上がっている。流山市は難しい局面に向かっている、大変だとは思いますが、人口規模が大きい割に、給料の額が少し高いのではないかと思います。30万、40万人の市でもそんなに出しておらず、人口規模でいえば八千代市あたりが妥当ではないかということを感じた。

それから、議員については、報酬に加え、手当をもらっている。今、若者がなかなか正職員・正社員になれずに苦しんでいるのを考えると、議員は確かに市や国のためになっているのだけれども、市が潤ってきたからこそ引締め財政をして、もっと苦しんでいるようなところに還元していただければいいかな、というのが本音である。

減らすというよりは見直しをして、もう少し議員の活動も痛みを分かるような形に変えていただければ、議員を選ぶ側も真剣になると感じる。

情勢を考えると、報酬の据え置きか引下げとすることで、市になるべくお金を残したい。議員と特別職にも、少し痛みを分かち合えたらいいと思う。

A 委員

F 委員の意見は非常に大事なことだと思う。先ほど事業所数を聞いたのは、民間の事業所調べが従業員 50 人以上。流山市の商工会のメンバーであっても 50 人以上と 50 人以下を比べたら、以下の方が圧倒的に多いわけで、やはり日常的な、いわゆる普通に暮らしている感覚、普通に事業所を営んでいる者の感覚というのは、50 人以上でもやはり、相当開きがあるのかなと思われる。そういうところを参考にしながらの人事院勧告であるから、市役所職員も含め、給与の 1 人平均相場は高くなるのではないか。その中で新座市の市長は選挙公約で 70% 減額をしているということで、立派な方もいらっしゃるのだなと感じた。

今年のベースアップは大体 5,000 円台から高くて 7,000 円台くらいがいいところである。

消費者物価指数の観点からみると、食料品は上がっているが、そのほか、石油は下がったとか、いま一つ生活と結びついていないところが変動しているので、引上げ・引下げについては、皆さんの意見を聞きながら考えたい。

G 委員

最近の社会経済情勢を踏まえれば、引上げというのは妥当なものと考えられる。色々な意見はあると思うが、現状の給料・報酬の体系をここで変えるという議論ではないと思われ、諮問に対してどうか、ということになると、引上げという見解もあると私自身は思う。

会長

直近で実施した審議会では、人事院勧告、社会情勢からも 3 期連続の引下げを決断した。他市では、人事院勧告で多少の上げ下げがあっても、特別職の給料額には反映させないところもあるが、流山市では、社会情勢に応じて反映させた方が市民に分かりやすいだろうということで、3 期連続の下げを決断したということもあり、私としては、やっぱり少し良くなってきたら上げた方がいいのではないかと思う。

一方で、特別職の給料の額は、俗人的に決めるのではなく、コストで判断してほしい。優秀な方に市長になってもらい、人口 17 万人の市民をどんどん引っ張っていただきたいと私は思う。

今のところ、私を除いて4人の方は上げる方向で良いのではないかとおっしゃっているが、他の方の意見はどうか。

A 委員

8月28日の新聞記事で、ちばぎん総合研究所による、病院、図書館といった様々な施設に関する77項目と、暮らしやすさに関する44項目のアンケートで、千葉県の中で偏差値が高かったのが、浦安、成田、印西、習志野、流山だった。そういう意味では、市長はそれなりに頑張っているということは認識している。

C 委員

民間企業の場合、会社の業績がいいと社員が賃上げを要求するが、経営側としては財政的に厳しいために上げたくない。しかし、売上げも伸びて利益も出ていると、社員は賃上げを主張するし、やはり上げないといけない。60歳定年で、給料ががたと落ちることも非常にモチベーションの低下につながる。会社の状態はいいのに決まり通りやらないといけないのか、という問題によく直面する。流山市が、今そういう状況の時だと、色々な意味で、引上げる方向の考えが強いのだろうという気がしている。

H 委員

非正規の方のことなどを考えると迷うが、人事院勧告や景気のこと、3期連続で引下げて、平成23年から変わっていないことなどを考えると、私個人の考えとしては、若干上げるという方向で良いのではないかとと思う。

I 委員

八千代市で引下げているという資料もあって、引上げか引下げか、迷っている。

A 委員

人口規模と予算額で、例えば松戸市の人口は48万7,000人で、流山市の2倍以上、予算額も大きく違っているが、市長の給料額は本当にわ

ずかな差でしかない。世の中が上向いているからといって、それだけで引上げてよいものかということは、考えてしまう。

D 委員

人口と予算規模が違うから、給料額に差があまりないということに対しては、反論させていただきたい。一般会計予算が多いということは、それだけ事業も行わなければならないが、市長の仕事は人口が多い少ないではなく、どこも同じだと私は思っている。

B 委員

審議会の資料を拝見し、やはり上げるべきではないかと考えるが、ただ上げれば良いというものではなく、上げるのだからもっと頑張ってもらいたいというような、期待の言葉を付け加えていただきたい。やる気も必要だと思うので、少し上がっただけでもやる気が違ってくるのではないかと考えている。

会長

色々な意見が出たが、条件付きも含め、方向性としては上げて良いのではないかという方が多いように思えるが、反対の意見はあるか。

F 委員

断固反対という訳ではないが、だからといって社会情勢や若者の給料のことを考えると、上げて良いのかを考えてもらいたい。上向きだから上乘せするというのは民間的な考え方であり、市はもっと全体的な立場にあると思う。特別職や議員には、この時代を流山市はどう乗り切るかという視点に立って考えてもらいたい。人間には器があり、その器に合わせた生き方でいいのではないかというのが基本にある。流山市が本当に住みやすいかは、福祉面がいかに潤っているかで評価されるべきであり、そのために特別職には少し苦い水を飲んでもらって、いわゆる弱者が少し潤うようになってもらいたい。そういう部分を忘れないでという意味で、もう1期くらいはこのままでいいのではないかと思うし、財政が赤字ではだめだと思う。

E 委員

上げる、下げるだけの議論になっているが、給料額の元の水準をベースに議論すべきではないかと思う。前回までの3回の下げ幅を元に戻すという意味合いではないと思う。

また、社会福祉事業を行っている立場からは、他市と比べ、流山市が事業者と一体となって一つの物事に取り組んでいると感じており、そこは高く評価すべきではないかと思う。

会長

私も全面的に賛同はしないが、時間がないため、現状をベースに上げるか下げるかしかない。以前、ゼロから検討しようという話もあったが、大変な時間と労力がかかる。社会情勢を反映させながら、ということになると、やはり、人事院勧告がどうか、ということになり、前は人事院勧告に準拠して下げたので、今回上げるにしても、人事院勧告を超えて上げるのは、難しいと思う。

ですからそこは、職員の人事院勧告に準拠したような形で、どうぞ上げることを検討してくださいと、上げることについて、やぶさかではありませんというような意見の仕方なのかと思うが、その辺で皆さんがご納得いただければ、事務局に案文を作らせるが、どうか。

全員

異議なし

【 答申読み上げ 】

会長

少数の意見もある程度反映された内容になっていると思うが、よろしいか。

A 委員

一番最後のところで、「よって現行の額を引上げることが適当であるとの結論を得たものであります」とあるが、上限がないようにもとれるため、このままで良いかどうか。「人事院勧告の内容を踏まえ」などを入れ

ないと、ただ引上げるだけではどうかと思う。

G 委員

「社会経済情勢、人事院勧告の内容を踏まえて、妥当な範囲で」という言葉をつけた方が良いのではないかと思う。

会長

それでは、事務局の方で訂正してもらえるか。

事務局

「以上、昨今の社会経済情勢、本年度における人事院勧告等の内容を踏まえ、現行の額を引上げることが適当であるという結論を得たものがあります。引上げる以上は、次代に向かって更なる努力を望みます。」
このようにさせていただきました。

会長

この内容でよろしいか。

全員

異議なし

会長

それでは、これで市長に提出したいと思います。

【 市長へ答申書を提出 】

会長

それでは以上をもちまして、本日の会議を終了させていただきます。